

実践時期 5年生秋休み
対 象 第5学年
授 業 者 今村 愛実
使用教科書 東京書籍

家族・家庭生活課題と実践 指導案(略案)

1 題材名:わたしにまかせてね

2 生活の課題と実践の目標

学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践することができる。

3 題材について(ステップ0)

●題材を貫くテーマ(題材名よりも広く捉える)

5年生前半での学習を生かして、家庭や学校での生活をよりよくなる視点をもつ。

●本題材設定の理由

5年生がスタートし、半年たった子どもたち。家庭科の学習のなかで、調理をすることや手縫いをするを通して、誰かの役に立つ喜びや、自分で作ることの嬉しさを実感しています。そこで、家庭のなかで自分にできることを見付け、実践することを通して、課題を解決するために必要な力を高めていく姿を期待しています。

本題材でねらっているのは、実践したことで、自分の暮らしの見方を広げるということです。普段は、家族があたりまえにしてくれていることに取り組んだり、何となくこのくらいでいいかに行っていることを、計画的に実践していくことで、そのよさについて実感できるようにしていきたいです。そのためには、自分の生活をふりかえったり、仲間とアドバイスをしあうことができるような場を設定したりすることが必要だと考えています。

●基礎となる学習(教科書の題材名)

- ・私の生活大発見
- ・ゆでる調理でおいしさ発見
- ・ひと針に心を込めて
- ・整理・整頓で快適に
- ・食べて元気! ご飯とみそ汁

4 指導計画（5年③6年③全6時間）

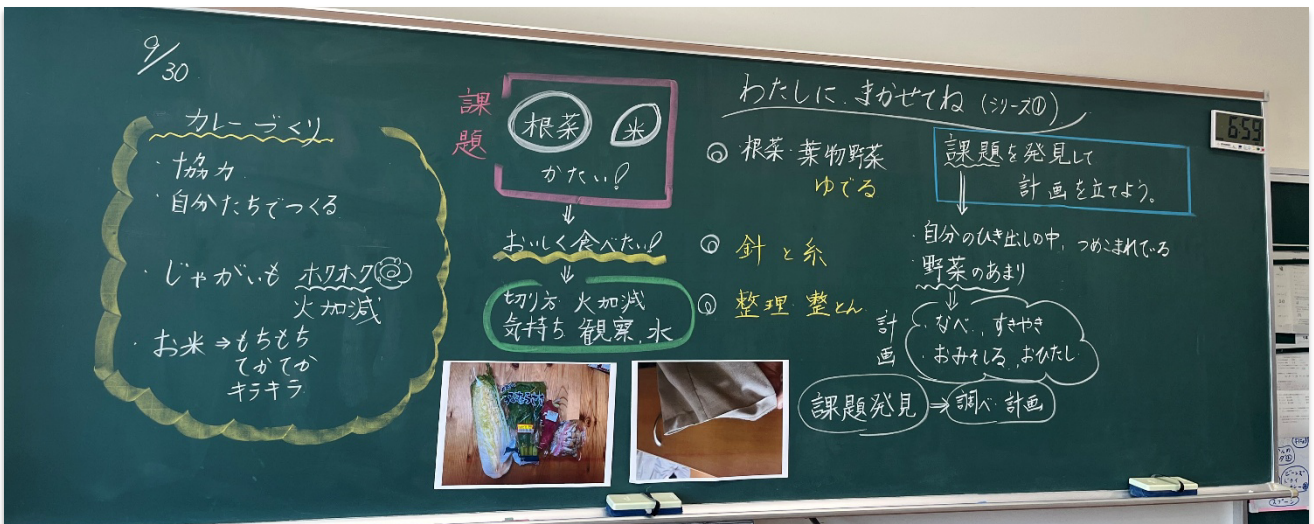
〈時数〉	「小題材名」	児童の主な活動	◆評価〈規準〉
課題設定・計画 〈2〉	「わたしにまかせてね」	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返る。 ・自分の生活を見つめ直す。 ・これまでの学習を生かして、家でやってみたいことを計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆[思判表①] 発言・記録 <家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定している。> ◆[思判表②] 発言・記録 <さまざまな解決方法を考え、計画を立てている。> ◆[態度①②] 発言・記録・行動観察 <家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。>
家庭実践 (ステップ2)		<ul style="list-style-type: none"> ・実践前と、実践後をくらべて気付いたことなどを記録する。 ・実践してみた、おすすめポイントを記録する。 ・今後、やってみたいことなどを考える。 	
発表・改善 (ステップ3) 〈1〉	(ステップ3) 発表・改善 「わたしにまかせてね報告会」	<ul style="list-style-type: none"> ・追究、実践したことを交流する。 ・さらに、よりよい生活にするための改善策や、自分にできそうなことについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆[思判表③④] 発言・記録 <実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。> ◆[態度①②③] 発言・記録・行動観察 <ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。>

◎指導・活動の実際

ステップ1 課題設定・計画

秋休みに入る前の頃です。まずは、これまでの家庭科の学習でできるようになったことを振り返ります。課題を設定して実践したことで解決することができた経験等について写真を提示しながら振り返りました。写真を見返したり、自分のノートを振り返ったりしながら、「なつかしい！」「もう1回裁縫をやりたい！」等のつぶやきが聞こえてきました。

次に、学んだことを家庭で生かせる場面がないかどうかについて、教師が提示した写真を基に考えて生きました。教師が提示した写真は、2枚です。1枚目は「割引と書いている小松菜を買ってしまった。早く調理をしないと、傷んで食べられなくなってしまう。冷蔵庫を見てみると、他にもこんな野菜があったよ。」と言いながら提示しました。子どもは、「分かる。お母さんもよくそんなこと言っている気がするな」等と自分の暮らしを想起していました。2枚目は、「ズボンの裾がほつれてしまって、着られないんだよね。」と言いながら提示しました。その後、子どもに「みんなだったら、この2つの課題をどんなふうに解決しますか？」と問いかけると、「私だったら味噌汁をつくるかな」等、課題に対する計画を立てる姿が見られました。最後に、自分の家庭に合った課題を決定して、計画を立てていきます。



【課題設定場面の板書】

わたしにまかせてね！ (シリーズ①)

【課題】
①家のいろいろなところが散らかっている
②いつもお母さんが料理をつくられている
③おじいちゃんになかなか感謝できていない

【目標】
①片づけを家族全員でする
②料理をつくってあげる
③おじいちゃんにプレゼントを作る (裁縫+得意なこと)

【計画】
①の計画
1. 空き時間をつくる (家族全員同じ時間に)
2. それぞれの気になるところを片付ける

②の計画
1. 忙しい日 (午後) をつくる
2. 夜ご飯をつくってあげる

③の計画
1. 何が喜んでもらえるか考える
2. 材料を用意する
3. 作る

【A児の計画書】

わたしにまかせてね！ (シリーズ①)

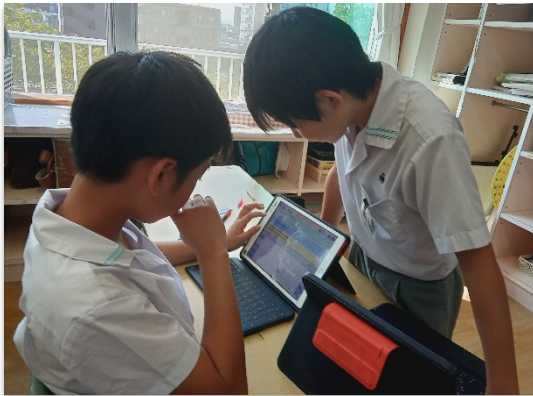
【課題】
自分の部屋の中がとにかく汚い

【目標】
綺麗にして誰が見ても綺麗と思ってもらえるようにする

【計画】
いらないものという物に分ける
いらないものは捨てたり、使い用を考える
収納ボックスなどを買ったりしてその中に入れる
終わり

【B児の計画書】

一通り、計画立てが終わったら仲間とアドバイスをします。ここでは、今の計画がもっとよりよくなるためには他の方法はないかや、今の計画でよいところを伝え合います。



実際の対話

C1「ぼくは、きれいにしてもすぐにまた散らかってしまうから、とりあえずいる物といらない物を分けて、整理・整頓しようと思っているよ。」
 C2「その気持ち分かるな。ぼくは部屋に入ってどこに何があるかすぐに分かるように、入れる物を準備しているよ。そこに、おもちゃとか学習用具とか、分類してる。」
 C1「その方法いいね。ぼくもやってみよう。」

ステップ2 家庭実践

実践するのは秋休みです。ロイロノートを活用して、実践前と実践後を記録させたり、みんなにおすすめポイント・意外と難しかったこと・じぶんがこだわったことを記録させたりしました。

今回、みんなにおすすめポイントや意外と難しかったことを記録しておくことで、ただ実践して終わるだけではなく、他の目的や状況に応じても生かせることがあることを意識してほしいという思いがあります。

【実践前】

【実践後】

【実践報告】
 両親に食べてもらったら、「おいしい！」と好評でした～
 とくに、さつまいもとツナのサラダは、「もっと食べたい！」と言われました（うれしい！）
 お母さんも、「作ってくれて楽だわあ～」と言ってくれたので、目標達成です(^o^)

【みんなにおすすめポイント・意外と難しかったこと・こだわったことなど】
 もう一つの目標「家にあるもので作る」
 買い物に行く手数が省けるし、賞味（消費）期限が近いものも使えるので、メリットがたくさんありました！
 出来るだけ簡単そうなレシピで作ったのですが、味が薄かったり、サラダの玉ねぎが辛かったりと大変でした(-_-)

振り返り
 すごく喜んでくれて嬉しかったです！
 でも、今回はお母さんの助けを借りてしまったので、今度はお母さんの助けを借りずに完全に自分だけでやりたいです。

【A児の実践報告書】

【実践前】

【実践後】

【実践報告】
 バックと見るだけでどこにあるのかわかるようになった。
 上手くいった

【みんなにおすすめポイント・意外と難しかったこと・こだわったことなど】
 服を綺麗にしたところ
 ベッドの下に置いていたのが戻った
 バックと見て何が置いてあるか分かりやすくなったところ

振り返り
 もっと綺麗にしたい

【B児の実践報告書】

ステップ3 発表・改善

実際に、自分が実践したことで、うまくいったことや困ったことについて報告をしていきます。また、写真で記録している子どもは、写真を提示しながら、報告会を行いました。

実践発表の実際① A児の夜ご飯づくり

【設定した課題】いつもお母さんが作っている料理を、自分が作ってあげたい。

【計画】忙しくない日の午後に作る。夜ご飯を作ってあげる。



☆感想

両親に食べてもらったら、「おいしい！」と好評でした。とくに、さつまいもとツナのサラダは、「もっと食べたい！」といわれました（うれしい）！お母さんも、「作ってくれて楽だわ〜」と言ってくれたので、目標達成です。

☆みんなにおすすめポイント・意外と難しかったこと・こだわったこと

もう一つ、目標としてもっていた「家にあるもので作る」ことは、買物に行く手間が省けるし、賞味期限が近い物も使えるので、メリットがたくさんありました。できるだけ、簡単そうなレシピで作ったのですが、味が薄かったり、サラダの玉ねぎがからかったりと大変でした。

☆ふりかえり

すごく喜んでくれて嬉しかったです。でも、今回はお母さんの助けを借りてしまったので、今度はお母さんの助けを借りずに完全に自分だけでやりたいです。

実践発表② お守り作り

② 受験生の兄に向けたお守りづくり

【設定した課題】お兄ちゃんが受験に向けて頑張っているから、お守りを作りたい。

【計画】キーホルダーのように、身に付けることができるような形にしたい。笑顔になってほしいから、キャラクターなどを付けたい。



☆感想

今回は、かがり縫いで挑戦しました。兄が喜んで、筆箱につけてくれたので嬉しかったです。キャラクターを縫い付けるときが難しくて、お母さんに手伝ってもらいました。

☆みんなにおすすめポイント・意外と難しかったこと・こだわったこと

キャラクターを縫い付けるときは、周りを縫ってからだと縫いにくくなるから、はじめに縫い付けること。「合格」等の文字も、縫い付けると喜んでもらえてよかった。

☆ふりかえり

自分の力だけでは難しいところがあったから、今度は自分の力だけで挑戦してみたい。